crontab 記述方法

Linuxで定期的にコマンド実行したい時には crontab コマンドを利用する。

編集

---

```
$ crontab [-u ユーザ名] -e
```

- ユーザ名を省略すると現在のユーザ権限で登録。又、sudo コマンドから実行すると root ユーザ権限で登録。

閲覧

---

```
$ crontab [-u ユーザ名] -l
```

- ユーザ名を省略すると現在のユーザ権限の情報。又、sudo コマンドから実行すると root ユーザ権限の情報。

書式

---

```
分　時　日　月　曜日　コマンド
```

## 曜日の書き方

曜日を「0～7」（0,7は日曜日）または sun sat で指定。ワイルドカード(*)を指定すると毎日。

```
0 sun
1 mon
2 tue
3 wed
4 thu
5 fri
6 sat
```

**サンプル**

---

```
0 1 * * sat /sbin/shutdown -r now
0 5 * * sat /var/www/backup/backup.sh > /var/www/backup/log/www-backup.log
2>&1
```

crontab情報の格納先

---

Ubuntuでは、以下フォルダにユーザ名のファイルが作成される。

```
/var/spool/cron/crontabs/
```

参考

---

1. UNIX/Linuxの部屋 crontabコマンドの使い方

From:
https://yokoweb.net/dokuwiki/ - **新石器Wiki**

Permanent link:
**https://yokoweb.net/dokuwiki/software/ubuntu/command/crontab-cmd?rev=1572155352**

Last update: **2019/10/27 14:49**